

プログラム 1 日目（講演会場）

6月27日（金） 講演会場（古今の間（中・南）） 11:40～11:50

開会式

【当番世話人】波多野 悦朗（京都大学肝胆膵・移植外科／小児外科）

【代表世話人】工藤 正俊（近畿大学 医学部 消化器内科）

6月27日（金） 講演会場（古今の間（中・南）） 11:50～12:40

ランチョンセミナー 1

【司会】河田 則文（大阪公立大学大学院医学研究科 肝臓治療学）

【共催】ギリアド・サイエンス株式会社

LS1 B型肝炎臨床現場の Unmet needs

順天堂大学医学部附属静岡病院 消化器内科

○玄田 拓哉

6月27日（金） 講演会場（古今の間（中・南）） 12:50～13:50

プレナリーセッション 1

【司会】上野 義之（山形大学医学部 内科学第二講座）

竹原 徹郎（関西労災病院）

PL1-1 複合免疫療法時代のシークエンシャル治療 -HERITAGE 試験から-

¹帝京大学 医学部 内科、²国立国際医療研究センター、³東京大学大学院 医学系研究科 消化器内科学、
⁴東京大学大学院 医学系研究科 肝胆膵外科学、⁵国際医療福祉大学 医学部、⁶北海道大学大学院 消化器外科教室I、
⁷東京科学大学 分子腫瘍医学、⁸神戸大学大学院 医学研究科 放射線医学分野、
⁹福岡大学 医学部 放射線医学教室、¹⁰武蔵野赤十字病院 消化器科、¹¹京都大学 医学研究科 肝胆膵・移植外科、
¹²東京大学大学院 医学系研究科 公共健康医学専攻生物統計学、¹³近畿大学 医学部 消化器内科学

○浅岡 良成^{1,2}、建石 良介³、山田 康秀²、國土 貴嗣²、斎藤 明子²、長谷川 潔⁴、坂元 亨宇⁵、
武富 紹信⁶、田中 真二⁷、村上 卓道⁸、吉満 研吾⁹、黒崎 雅之¹⁰、波多野 悦朗¹¹、松山 裕¹²、
工藤 正俊¹³、國土 典宏²

PL1-2 切除不能肝細胞癌における薬物療法に関する前向き観察研究(PRISM 試験):1000 例までの update 解析

¹千葉大学大学院医学研究院消化器内科学、²国立がん研究センター東病院 肝胆膵内科、
³九州大学大学院 消化器・総合外科、⁴大阪大学大学院医学系研究科 口腔内微生物制御学共同研究講座、
⁵広島大学病院 消化器・代謝内科、⁶久留米大学医学部内科学講座 消化器内科部門、⁷金沢大学附属病院 消化器内科、
⁸熊本大学病院 消化器内科、⁹東京大学医学部附属病院 消化器内科、
¹⁰横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター内科、¹¹東邦大学医療センター大森病院 消化器内科、
¹²埼玉医科大学病院 消化器内科・肝臓内科、¹³徳島大学病院 消化器内科、¹⁴北里大学医学部 消化器内科、
¹⁵飯塚病院 肝臓内科、¹⁶国立がん研究センター中央病院 肝胆膵内科、¹⁷神奈川県立がんセンター、¹⁸近畿大学病院 消化器内科

○小笠原 定久¹、池田 公史²、伊藤 心二³、小野塚 大介⁴、河岡 友和⁵、新関 敬⁶、山下 太郎⁷、
田中 靖人⁸、山田 友春⁹、沼田 和司¹⁰、永井 英成¹¹、持田 智¹²、友成 哲¹³、日高 央¹⁴、
本村 健太¹⁵、建石 良介⁹、山下 竜也⁷、奥坂 拓志¹⁶、古瀬 純司¹⁷、工藤 正俊¹⁸

PL1-3 Child-Pugh 分類 B の進行肝細胞癌患者を対象としたアテゾリズマブ + ベバシズマブ併用療法の第 II 相試験 (CHALLENGE 試験)

¹広島大学病院 消化器内科、²金沢大学附属病院 消化器内科、³国立がん研究センター東病院 肝胆膵内科、
⁴国立がん研究センター中央病院 肝胆膵内科、⁵神奈川県立がんセンター 消化器内科、
⁶千葉大学医学部附属病院 消化器内科、⁷愛媛県立中央病院 消化器内科、⁸久留米大学病院 消化器内科、
⁹京都府立医科大学附属病院 消化器内科、¹⁰愛知県がんセンター 放射線診断・IVR 部、
¹¹武蔵野赤十字病院 消化器内科、¹²大阪大学医学部附属病院 消化器内科、¹³横浜市立大学 臨床統計学教室、
¹⁴近畿大学病院 消化器内科、¹⁵山口大学医学部附属病院 消化器・腫瘍外科学

○河岡 友和^{1,2}、寺島 健志²、池田 公史³、山下 太郎²、奥坂 拓志⁴、今岡 大³、小林 智⁵、
小笠原 定久⁶、平岡 淳⁷、中野 聖士⁸、森口 理久⁹、稲葉 吉隆¹⁰、土谷 薫¹¹、疋田 隼人¹²、
篠田 寛¹³、上野 誠⁵、加藤 直也⁶、工藤 正俊¹⁴、古瀬 純司⁵、永野 浩昭¹⁵

PL1-4 Five-year overall survival and OS by baseline liver function from HIMALAYA study in unresectable hepatocellular carcinoma.

¹近畿大学 医学部 消化器内科、
²Department Of Biomedical Sciences, Humanitas University, Pieve Emanuele and Humanitas Cancer Center, IRCCS Humanitas Research Hospital, Rozzano, Milan/IT、
³State Key Laboratory Of Translational Oncology, Department Of Clinical Oncology, Sir Yue-Kong Pao Center for Cancer, The Chinese University of Hong Kong, Hong Kong SAR/CN、
⁴Liver Unit And Hpb Oncology Area, Clinica Universidad de Navarra and CIBEREHD, Pamplona – Madrid/ES、
⁵Humanity And Health Clinical Trial Center, Humanity and Health Medical Group, Hong Kong SAR/CN、
⁶Department Of Chemotherapy, N. N. Blokhin National Medical Research Center of Oncology, Moscow/RU、
⁷Liver Unit, Hospital Universitario Central de Asturias, IUOPA, ISPA, FINBA, Universidad de Oviedo, Oviedo/ES、
⁸Rogel Cancer Center, University of Michigan, Ann Arbor/US、
⁹Ap-hp Hôpital Beaujon, Liver Cancer Unit, Paris/FR、
¹⁰Cancer Research And Clinical Trials Center, Department Of Optimal Therapy, National Cancer Hospital, Hanoi/VN、
¹¹Department Of Oncology, CEON – Centro Especializado em Oncologia, Ribeirao Preto/BR、
¹²Department Of Gastroenterology, Kanagawa Cancer Center, Yokohama/JP、
¹³Department Of Surgery, China Medical University and Hospital, 40447 - Taichung City/TW、
¹⁴Department Of Oncology, University of Ulsan College of Medicine, Asan Medical Center, Seoul/KR、
¹⁵Helen Diller Family Comprehensive Cancer Center, University of California, San Francisco/US、
¹⁶Global Medical Affairs, AstraZeneca, Gaithersburg/US、
¹⁷Oncology R&d, Late-stage Development, AstraZeneca, Gaithersburg/US、
¹⁸Statistics, AstraZeneca, Gaithersburg/US、
¹⁹Department Of Medicine, Memorial Sloan Kettering Cancer Center and Weill Medical College, Cornell University, New York/US

○工藤 正俊¹、L. Rimassa²、S.L. Chan³、B. Sangro⁴、G. Lau⁵、V.V. Breder⁶、
M. Varela⁷、O.V. Crysler⁸、M. Bouattour⁹、V.T. Dao¹⁰、A. Faccio¹¹、
古瀬 純司¹²、L. Jeng¹³、Y. Kang¹⁴、R.K. Kelley¹⁵、M.J. Paskow¹⁶、M. Makowsky¹⁷、
D. Ran¹⁸、A. Negro¹⁷、G.K. Abou-Alfa¹⁹

PL1-5 進行肝癌における免疫チェックポイント阻害薬を含むレジメンの使い分け

岡山大学病院 消化器内科

○足立 卓哉、三宅 望、須江 真彦、竹内 康人、大西 秀樹、高木 章乃夫、大塚 基之

PL1-6 CRAFTY スコアに着目した一次治療レジメンの選択

¹京都大学大学院医学研究科 消化器内科学、²倉敷中央病院 消化器内科、³尼崎総合医療センター 消化器内科、
⁴大阪赤十字病院 消化器内科、⁵明和病院 消化器内科、⁶京都医療センター 消化器内科、⁷北野病院 消化器内科、
⁸天理よろづ相談所病院 消化器内科、⁹日赤和歌山医療センター 消化器内科、¹⁰滋賀県立総合病院 消化器内科、
¹¹京都桂病院 消化器内科、¹²京都大学医学部附属病院 肝胆膵・移植外科

○上野 真行^{1,2}、竹田 治彦¹、高井 淳¹、梅田 誠³、森村 博樹^{1,4}、奥山 駿佑²、西島 規浩⁵、
岩本 諭⁶、中野 重治⁷、永友 秀⁸、上野山 義人⁹、後藤 知之¹⁰、池田 敦之¹¹、丸澤 宏之⁴、
大崎 往夫⁵、波多野 悦朗¹²、妹尾 浩¹

6月27日(金) 講演会場(古今の間(中・南)) 13:50～14:20

特別講演 1

肝細胞癌薬物療法の Cutting Edge

【司会】黒崎 雅之(武蔵野赤十字病院)

肝細胞癌薬物療法の Cutting Edge

近畿大学 医学部 消化器内科

○工藤 正俊

6月27日(金) 講演会場(古今の間(中・南)) 14:30～15:20

スポンサードセッション 1

【司会】田中 靖人(熊本大学大学院生命科学研究部 消化器内科学)

【共催】アストラゼネカ株式会社メディカル本部

SS1 肝がんに対する IO 治療が行われる際の適切な imAE マネジメントのために

社会福祉法人 三井記念病院 総合内科・膠原病リウマチ内科

○峯村 信嘉

6月27日(金) 講演会場(古今の間(中・南)) 15:30～16:20

スポンサードセッション 2

【司会】古瀬 純司(神奈川県立がんセンター)

【共催】MSD株式会社

SS2 胆道癌治療 Up To Date - 肝内胆管癌薬物治療の進歩と今後の展望 -

関西医科大学附属病院 臨床腫瘍科

○金井 雅史

6月27日(金) 講演会場(古今の間(中・南)) 17:20～18:10

イブニングセミナー

胆道癌薬物療法の新展開～基礎と臨床から～

【司会】波多野 悦朗(京都大学大学院医学研究科 肝胆膵・移植外科学)

【共催】エーザイ株式会社

ES-1 FGFR2 融合遺伝子に対する FISH 検査とタスルグラチニブの最新知見

国立がん研究センター中央病院 肝胆膵内科

○丸木 雄太

ES-2 胆道癌薬物療法の新展開 ～ FISH 検査を活用した最適治療戦略および免疫微小環境を中心に～

三重大学大学院 医学系研究科 消化器内科学

○中川 勇人

プログラム 1 日目 (ポスター会場 1)

6月27日(金) ポスター会場 1 (古今の間(北)) 16:20 ~ 17:20

ポスターセッション 1

各種薬物療法の治療成績①

【司会】能祖 一裕 (岡山市立市民病院 消化器内科)

長谷川 潔 (東京大学 肝胆膵外科)

P1-1 高齢者における STRIDE レジメンの有効性と安全性

¹神戸大学大学院医学研究科 内科学講座 消化器内科学分野、²RELPEC/HCC48

○多田 俊史^{1,2}、熊田 卓²、平岡 淳²、谷 丈二²、厚川 正則²、高口 浩一²、糸林 詠²、辻 邦彦²、石川 達²、玉井 秀幸²、豊田 秀徳²、畑中 健²、柿崎 晃²、能祖 一裕²、松浦 敬憲²、小松 コマツ²、黒田 英克²、海堀 昌樹²、日浅 陽一²、工藤 正俊²

P1-2 Child-Pugh B 肝臓に対する薬物療法の治療成績

長崎大学 消化器内科

○佐々木 龍、中尾 康彦、福島 真典、原口 雅史、三馬 聡、宮明 寿光

P1-3 進行肝細胞癌に対するアテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法における予後不良因子別の治療効果の解析

¹千葉大学大学院医学研究院 消化器内科学、²慶應義塾大学病院 臨床研究推進センター

○弓田 牙¹、小笠原 定久¹、藤谷 誠¹、赤塚 鉄平¹、伊在井 亮¹、片山 慶一¹、澤田 翠¹、土屋 貴大¹、三輪 千尋¹、吉埜 稜平¹、米本 卓弥¹、神崎 洋彰¹、興梠 慧輔¹、井上 将法¹、中村 昌人¹、叶川 直哉¹、中本 晋吾¹、長島 健悟²、加藤 順¹

P1-4 肝切除後の再発肝細胞癌に対する薬物療法の治療成績

北海道大学 消化器外科

○旭 火華、柿坂 達彦、長津 明久、相山 健、志智 俊介、山本 葉一、武富 紹信

P1-5 デュルバルマブ/トレメリムマブ併用療法における頻度の高いimAE 発症症例の臨床像

¹兵庫県立はりま姫路総合医療センター 消化器内科、²RELPEC Study Group/HCC48 Group

○的野 智光^{1,2}、大濱 日出子²、多田 俊史²、田中 一成²、狩山 和也²、田尻 和人²、谷 丈二²、糸林 詠²、畑中 健²、柿崎 暁²、玉井 秀幸²、矢田 豊²、豊田 秀徳²、西村 貴士²、石川 達²、厚川 正則²、黒田 英克²、海堀 昌樹²、工藤 正俊²、熊田 卓²

P1-6 肝区域切除および葉切除後再発に対する免疫チェックポイント阻害剤の治療成績と安全性の検討

¹神戸大学 肝胆膵外科、²神戸大学 消化器内科、³神戸大学 放射線診断・IVR科

○田井 謙太郎¹、小松 昇平¹、多田 俊史²、松浦 敬憲²、上嶋 英介³、祖父江 慶太郎³、大森 将貴¹、石原 伸郎¹、木戸 正浩¹、権 英寿¹、福島 健司¹、浦出 剛史¹、吉田 俊彦¹、荒井 啓輔¹、南野 佳英¹、柳本 泰明¹、児玉 裕三²、村上 卓道³、福本 巧¹

P1-7 アテゾリズマブ・ベバシズマブ治療における Child-Pugh B の実臨床成績

武蔵野赤十字病院 消化器内科

○安井 豊、土谷 薫、田口 美奈、山崎 雄大、内原 直樹、徳永 悠月、田中 雄紀、木村 晶平、宮本 遥、八木田 純子、慶徳 大誠、岡田 理沙、樋口 麻友、高浦 健太、田中 将平、前屋舗 千明、玉城 信治、中西 裕之、泉 並木、黒崎 雅之

P1-8 進行肝細胞癌に対する Atezolizumab/Bevacizumab 療法におけるウイルス性 HCC の予後は追加療法を行うことで非ウイルス性 HCC よりも改善する可能性がある

¹岡山市立市民病院 消化器内科、²愛媛県立中央病院 消化器病センター、
³愛媛大学大学院医学系研究科 消化器・内分泌・代謝内科学、⁴大垣市民病院 消化器内科、
⁵神戸大学大学院医学研究科内科学講座 消化器内科学分野、⁶群馬県済生会前橋病院 消化器内科、
⁷高崎総合医療センター 臨床研究部、⁸高崎総合医療センター 消化器内科、⁹香川県立中央病院 肝臓内科、
¹⁰手稲溪仁会病院 消化器病センター、¹¹済生会新潟病院 消化器内科、¹²国保旭中央病院 消化器内科、
¹³岐阜協立大学 看護学部、¹⁴RELPEC Study Group、¹⁵HCC48

○狩山 和也^{1,14,15}、湧田 暁子^{1,14,15}、塩田 祥平^{1,14,15}、能祖 一裕^{1,14,15}、平岡 淳^{2,14,15}、
廣岡 昌史^{3,15}、豊田 秀徳^{4,14,15}、多田 俊史^{5,14,15}、畑中 健^{6,14,15}、柿崎 暁^{7,14,15}、長沼 篤^{8,14,15}、
高口 浩一^{9,14,15}、筒井 朱美^{9,14,15}、辻 邦彦¹⁰、田中 一成^{10,14,15}、石川 達^{11,14,15}、
糸林 詠^{12,14,15}、大濱 日出子^{2,14,15}、多田 藤政^{2,14,15}、熊田 卓^{13,14,15}

6月27日（金）ポスター会場1（古今の間（北）） 16:20～17:20

ポスターセッション2

臨床的治療効果判定と予測

【司会】吉治 仁志（奈良県立医科大学 消化器内科）
坂元 亨宇（国際医療福祉大学医学部）

P2-1 肝細胞癌に対する免疫チェックポイント阻害薬含有レジメンと併用薬の検討

国立がん研究センター東病院肝胆膵内科

○佐竹 智行、佐々木 満仁、渡邊 一雄、今岡 大、澁木 太郎、井上 佳苗、平 知尚、山口 将太、
五十嵐 剛、光永 修一、池田 公史

P2-2 アテゾリズマブ+ベバシズマブ療法の予後予測におけるリンパ球/単球比の有用性

¹姫路赤十字病院 内科、²RELPEC/HCC48

○田中 瑛美^{1,2}、多田 俊史²、熊田 卓²、平岡 淳²、畑中 健²、石川 達²、糸林 詠²、狩山 和也²、
高口 浩一²、辻 邦彦²、能祖 一裕²、豊田 秀徳²

P2-3 Durvalmab+Tremelimumab 併用療法における腫瘍マーカーと治療効果に関する検討

¹香川労災病院 消化器内科、²香川大学医学部消化器神経内科

○出口 章広^{1,2}、谷 丈二²、森下 朝洋²

P2-4 Cr/CysC 比の肝細胞癌に対するアテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法における治療効果予測因子としての有用性

奈良県立医科大学 消化器・代謝内科

○加知 宏規、辻 裕樹、浪崎 正、鍛冶 孝祐、吉治 仁志

P2-5 メチル化遺伝子による Atezolizumab+Bevacizumab 療法の治療モニタリング

¹山口大学大学院医学系研究科 消化器内科学、²山口大学大学院医学系研究科 臨床検査・腫瘍学

○江種 真穂¹、佐伯 一成¹、藤岡 毅¹、田邊 規和¹、山崎 隆弘²、高見 太郎¹

P2-6 B Flow Imaging を用いた肝癌微細血流による肝動脈腫瘍塞栓療法の治療効果予測の検討

愛媛大学大学院医学系研究科消化器・内分泌・代謝内科学

○中村 由子、廣岡 昌史、矢野 怜、島本 豊伎、盛田 真、岡崎 雄貴、行本 敦、渡辺 崇夫、吉田 理、
徳本 良雄、日浅 陽一

P2-7 切除不能肝細胞癌に対するアテゾリズマブ＋ベバシズマブ併用療法と NER の関係

神奈川県立がんセンター消化器内科

○福島 泰斗、小林 智、白石 和雅、榎本 昌人、濱口 智美、戸塚 雄一郎、朝井 靖二、手塚 瞬、
上野 誠

P2-8 肝細胞癌肝切除後の肝外再発における治療方針の検討

北海道大学大学院医学研究院 消化器外科学教室 I

○鈴木 琢士、旭 火華、柿坂 達彦、長津 明久、相山 健、藤居 勇貴、志智 俊介、深澤 拓夢、
山本 葉一、後藤 了一、渡辺 正明、川村 典生、武富 紹信

プログラム 1 日目（ポスター会場 2）

6 月 27 日（金）ポスター会場 2（竹取の間） 16:20～17:20

ポスターセッション 3

薬物療法と Conversion 治療

【司会】海堀 昌樹（関西医科大学 肝臓外科学講座）

調 憲（群馬大学 肝胆膵外科）

- P3-1 アテゾリズマブ + ベバシズマブ併用療法における切除可能性分類からみた治療法の検討**
¹兵庫医科大学 消化器内科学、²兵庫医科大学病院 超音波センター、³兵庫医科大学 肝胆膵外科
○西村 貴士^{1,2}、會澤 信弘¹、多田 正晴³、由利 幸久¹、高嶋 智之¹、池田 直人¹、福西 新弥¹、中村 育夫³、廣野 誠子³、飯島 尋子^{1,2}、榎本 平之¹
- P3-2 集学的治療を活用した進行肝細胞癌に対するコンバージョン手術の可能性**
関西医科大学 医学部 肝臓外科
○三井 哲史、松島 英之、木口 剛造、小坂 久、山本 栄和、松井 康輔、海堀 昌樹
- P3-3 肝細胞癌腫瘍学的切除可能性分類に基づいた肝切除および薬物療法治療成績の検証**
¹神戸大学大学院医学研究科 外科学講座 肝胆膵外科学分野、
²神戸大学大学院医学研究科 内科学講座 消化器内科学分野、
³神戸大学大学院医学研究科 内科系講座 放射線医学分野
○小松 昇平¹、多田 俊史²、上嶋 英介³、石原 伸朗¹、大森 将貴¹、松浦 敬憲²、祖父江 慶太郎³、木戸 正浩¹、権 英寿¹、福島 健司¹、浦出 剛史¹、吉田 俊彦¹、田井 謙太郎¹、荒井 啓輔¹、南野 佳英¹、柳本 泰明¹、児玉 裕三²、村上 卓道³、福本 巧¹
- P3-4 当院における肝細胞癌に対する免疫療法後のコンバージョン療法の治療成績**
¹広島大学病院 消化器内科、²広島大学病院 がん化学療法科、³広島大学病院 肝疾患センター
○三浦 峻一¹、末田 咲¹、江盛 智明¹、田中 愛子¹、橋本 晃¹、藤井 康智²、藤野 初江¹、大野 敦司¹、村上 英介¹、河岡 友和¹、三木 大樹¹、柘植 雅貴³、岡 志郎¹
- P3-5 進行肝細胞癌に対する薬物療法中の外科的介入**
兵庫医科大学 肝胆膵外科
○多田 正晴、末岡 英明、原田 和、白井 大介、栗本 亜美、野垣 航二、飯田 健二郎、中村 育夫、廣野 誠子
- P3-6 進行肝細胞癌に対する薬物療法後の外科的切除：集学的治療が奏効した 6 例の検討**
国立がん研究センター中央病院 肝胆膵外科
○海野 良介、水井 崇浩、宮田 明典、奈良 聡、江崎 稔
- P3-7 BR1 大型肝細胞癌に対する Atezolizumab + Bevacizumab 療法後の肝切除例**
¹旭川医科大学 外科学講座 肝胆膵・移植外科学分野、²旭川医科大学 内科学講座 消化器内科学分野
○瀧澤 朋紀¹、高橋 裕之¹、水上 奨一朗¹、今井 浩二¹、澤田 康司²、横尾 英樹¹
- P3-8 切除可能性分類からみた肝細胞癌における薬物療法後の外科治療の有効性の検討**
九州大学大学院 消化器・総合外科
○伊藤 心二、戸島 剛男、本村 貴志、藤好 直、湯川 恭平、筒井 由梨子、吉住 朋晴

ポスターセッション4

症例報告①

【司会】建石 良介(東京大学医学部附属病院 消化器内科)

寺井 崇二(新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器内科学分野)

- P4-1 角膜移植後にアテゾリズマブ・ベバシズマブを投与し、強膜下血腫と移植片不全を呈し角膜再移植を要した肝細胞癌の1例**
¹東京大学医学部附属病院 消化器内科、²東京大学医学部附属病院 眼科
○山田 友春¹、金子 拓馬¹、外山 琢²、馬淵 敬祐¹、松下 祐紀¹、奥新 和也¹、中塚 拓馬¹、佐藤 雅哉¹、南 達也¹、工藤 洋太郎¹、宮井 尊史²、建石 良介¹、藤城 光弘¹
- P4-2 切除不能肝細胞癌に対して、レンバチニブを投与したことにより免疫チェックポイント阻害薬が奏功した症例**
広島大学病院 消化器内科
○末田 咲、河岡 友和、河原 倫彦、江盛 智明、田中 愛子、田中 裕輔、橋本 晃、平岡 敬一、三田村 祐里、上平 祐輔、三浦 峻一、山岡 賢治、藤井 康智、内川 慎介、藤野 初江、大野 敦司、村上 英介、三木 大樹、柘植 雅貴、岡 志郎
- P4-3 進行肝細胞癌に対するアテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法の単回投与で完全奏功を得た2症例**
¹がん・感染症センター東京都立駒込病院 肝臓内科、²昭和大学 医学部 内科学講座 消化器内科学部門
○音山 裕美^{1,2}、木村 昌倫¹、今村 潤¹、木村 公則¹
- P4-4 アテゾリズマブ/ベバシズマブ投与で喉頭血腫をきたした肝細胞癌の1例**
¹山形県立新庄病院 消化器内科、²山形県立新庄病院 耳鼻咽喉科
○花谷 拓海¹、奥本 和夫¹、秋葉 昭多郎¹、堀内 英和¹、古川 孝俊²、長瀬 輝顕²、八戸 茂美¹
- P4-5 アテゾリズマブ・ベバシズマブ併用療法単独でclinical CRを達成しdrug-freeが得られた進行混合型肝癌の一例**
¹山口大学医学部附属病院 検査部、²山口大学大学院医学系研究科 消化器内科学、³山口大学大学院医学系研究科 臨床検査・腫瘍学
○田邊 規和^{1,2}、佐伯 一成²、江種 真穂²、藤岡 毅²、山崎 隆弘^{1,3}、高見 太郎²
- P4-6 免疫チェックポイント阻害薬による免疫関連有害事象として薬剤過敏症症候群を発症した肝細胞癌の一例**
¹新潟大学医学部消化器内科、²新潟大学医学部皮膚科、³新潟大学医歯学総合病院病理部
○吉田 智彰¹、木村 成宏¹、横尾 健¹、結城 明彦²、阿部 理一郎²、高村 香織里³、梅津 哉³、寺井 崇二¹
- P4-7 経時的な全ゲノム析結果を参照しつつ集学的治療を行い長期生存を得ている進行肝細胞癌の一例**
¹京都大学 医学部附属病院 消化器内科、²京都大学大学院 医学研究科附属 がん免疫総合研究センター、³京都大学 医学部附属病院 肝胆臓・移植外科
○竹田 治彦¹、高井 淳¹、藤井 洋祐¹、上野 真行¹、三嶋 真紗子¹、犬塚 義¹、高橋 健^{1,2}、小島 秀信³、西尾 太宏³、石井 隆道³、波多野 悦朗³、妹尾 浩³

P4-8 複合免疫療法により pathological CR となり無再発で経過している進行肝細胞癌切除例

長崎大学大学院 外科学講座 肝胆膵・移植外科

○右田 一成、曾山 明彦、佐藤 彩香、松島 肇、木下 綾華、松隈 国仁、濱田 隆志、今村 一步、
小林 和真、足立 智彦、金高 賢悟、江口 晋

プログラム 2 日目（講演会場）

6 月 28 日（土） 講演会場（古今の間（中・南）） 8:00～8:50

モーニングセミナー

HCV 治療と肝細胞癌

【司会】熊田 卓（学校法人大垣総合学園岐阜協立大学／広島大学大学院医学研究科）

【共催】アッヴィ合同会社

MS-1 肝細胞癌に対する周術期補助療法の展望 ―慢性 C 型肝炎の癌微小環境を探る―

京都大学医学研究科 肝胆膵・移植外科

○西尾 太宏

MS-2 HCV 治療とウイルス排除後の病態進行への対策

武蔵野赤十字病院 消化器内科

○玉城 信治

6 月 28 日（土） 講演会場（古今の間（中・南）） 8:55～9:45

スポンサードセッション 3

Optimal sequential treatment based on immune-microenvironment insights

【司会】中川 勇人（三重大学大学院医学系研究科 消化器内科学）

【共催】武田薬品工業株式会社

SS3-1 癌免疫サイクルをいかに適切に回すか？ ～それぞれの治療の役割とは～

¹医療法人 岩本内科医院、²久留米大学医学部 内科学講座 消化器内科部門

○岩本 英希^{1,2}

SS3-2 切除不能肝細胞癌に対するカボザンチニブの実臨床成績と今後の展望

武蔵野赤十字病院 消化器科

○土谷 薫

6月28日(土) 講演会場(古今の間(中・南)) 9:50～10:50

プレナリーセッション2

【司会】工藤 正俊(近畿大学医学部 消化器内科)

國土 典宏(国立健康危機管理研究機構 肝胆膵外科)

PL2-1 全国原発性肝癌追跡調査の機械学習により構築された3cm以下3個以下肝細胞癌の根治的治療法(肝切除術/ラジオ波焼灼術)選択を支援するAIアルゴリズム

¹国立国際医療研究センター病院 肝胆膵外科、²国立国際医療研究センター 研究医療部、
³帝京大学医学部附属病院 内科、⁴東京大学大学院医学系研究科 消化器内科、⁵日本アイ・ピー・エム、
⁶日本医師会総合政策研究センター、⁷福岡大学医学部放射線医学教室、⁸済生会二日市病院検査部、
⁹神戸大学大学院医学研究科放射線診断学分野、¹⁰神戸大学肝胆膵外科、¹¹京都大学医学研究科肝胆膵・移植外科、
¹²徳島大学消化器・移植外科、¹³千葉大学大学院医学研究院消化器内科学、¹⁴兵庫医科大学消化器内科、
¹⁵武蔵野赤十字病院消化器科、¹⁶国際医療福祉大学医学部、¹⁷近畿大学医学部消化器内科、
¹⁸国立国際医療研究センター病院 理事長

○國土 貴嗣¹、山田 康秀²、淺岡 良成³、建石 良介⁴、壁谷 佳典⁵、鎌田 亜美⁵、吉田 澄人⁶、
中村 悠馬⁵、吉満 研吾⁷、矢野 博久⁸、村上 卓道⁹、福本 巧¹⁰、波多野 悦朗¹¹、島田 光生¹²、
加藤 直也¹³、飯島 尋子¹⁴、黒崎 雅之¹⁵、坂元 亨宇¹⁶、工藤 正俊¹⁷、國土 典宏¹⁸

PL2-2 Patterns of radiological progression in patients with embolization-eligible hepatocellular carcinoma in EMERALD-1 study: a post hoc analysis

¹近畿大学 医学部 消化器内科学、
²Liver Unit and HPB Oncology Area, Clínica Universidad de Navarra and CIBEREHD, Pamplona – Madrid, Spain、
³Medical Oncology, AP-HP Hôpital Beaujon, Paris, France、
⁴Department of Gastroenterology and Hepatology, Center for Liver and Pancreatobiliary Cancer, National Cancer Center, Goyang, Republic of Korea、
⁵Instituto Nacional de Cancerología, Mexico City, Mexico、
⁶Interventional Radiology Service, Memorial Sloan Kettering Cancer Center, New York, NY, USA、
⁷Centro Integrado de Pesquisa em Oncologia, Hospital Nossa Senhora de Conceição, Porto Alegre, Brazil、
⁸Department of Interventional Radiology, Hunan Cancer Hospital, Changsha, China、
⁹Oncology Department, City Clinical Oncological Dispensary, St. Petersburg, Russian Federation、
¹⁰Division of Hepatology, Department of Internal Medicine, Iwate Medical University, Morioka, Iwate, Japan、
¹¹Department of Internal Medicine, Faculty of Medicine, Chiang Mai University, Chiang Mai, Thailand、
¹²Liver Tumor Department, Cho Ray Hospital, Ho Chi Minh City, Vietnam、
¹³Department of Medical Oncology, Tata Memorial Hospital, Tata Memorial Centre, Mumbai, India、
¹⁴School of Medicine, University of Queensland and Department of Medical Oncology, Royal Brisbane and Women's Hospital, Brisbane, QLD, Australia、
¹⁵Tennessee Oncology, Nashville, TN, USA、
¹⁶Oncology Biometrics, Late Oncology Statistics, AstraZeneca, Cambridge, UK、
¹⁷Global Medicines Development, AstraZeneca, Cambridge, UK、
¹⁸Global Medical Affairs, AstraZeneca, Gaithersburg, MD, USA、
¹⁹Sir Yue-Kong Pao Center for Cancer, Prince of Wales Hospital, The Chinese University of Hong Kong, Hong Kong SAR, China

○工藤 正俊¹、Bruno Sangro²、Mohamed Bouattour³、Joong-Won Park⁴、
María del Consuelo Díaz Romero⁵、Joseph P. Erinjeri⁶、Gustavo Alves⁷、
Shanzhi Gu⁸、Aleksei Manikhas⁹、黒田 英克¹⁰、Thatthan Suksombooncharoen¹¹、
Truc Hoi Trung Vo¹²、Vikas S. Ostwal¹³、Melissa Eastgate¹⁴、Gina Vaccaro¹⁵、
Rebecca Griffin¹⁶、Sajid Ali¹⁷、Kavitha Balaji¹⁸、Stephen L. Chan¹⁹

PL2-3 アテゾリズマブ・ベバシズマブ併用療法がもたらす治療効果と腫瘍浸潤リンパ球の関係：CD8+T 細胞の空間的特徴を予測バイオマーカーとした組織学的評価

¹千葉大学大学院医学研究院消化器内科学、

²Division of Digestive and Liver Diseases, Department of Internal Medicine,

The University of Texas Southwestern Medical Center、

³岡山大学学術研究院医歯薬学域腫瘍微小環境学、⁴千葉県がんセンター研究所細胞治療開発研究部、

⁵千葉大学大学院医学研究院診断病理学、⁶千葉大学大学院医学研究院臓器制御外科学、

⁷国際医療福祉大成田病院病理診断科、⁸岡山大学病院呼吸器・アレルギー内科、⁹近畿大学医学部

○神崎 洋彰^{1,2}、石野 貴雅^{1,3}、小笠原 定久¹、澤田 翠¹、伊在井 亮¹、米本 卓弥¹、弓田 冴¹、
兒島 隆太¹、興梠 慧輔¹、井上 将法¹、叶川 直哉¹、高野 友花³、高田 佳歩³、Jason Lin⁴、
河津 正人⁴、池田 純一郎⁵、大塚 将之⁶、星田 有人²、小無田 美菜⁷、富樫 庸介^{1,2,8,9}

PL2-4 Macrovascular invasion を伴う進行肝細胞癌に対する薬物療法の最適化

¹手稲溪仁会病院 消化器病センター、²RELPEC/ HCC48

○田中 一成^{1,2}、辻 邦彦^{1,2}、多田 俊史²、畑中 健²、的野 智光²、狩山 和也²、糸林 詠²、
高口 浩一²、矢田 豊²、川田 一仁²、石川 達²、厚川 正則²、黒田 英克²、田尻 和人²、
玉井 秀幸²、海堀 昌樹²、日浅 陽一²、榎本 平之²、工藤 正俊²、熊田 卓²

PL2-5 複合免疫療法時代における進行肝細胞癌に対するシスプラチン肝動注化学療法の可能性

¹国立がん研究センター中央病院 肝胆膵内科、²久留米大学 医学部 内科学講座消化器内科部門、

³国立がん研究センター中央病院 放射線診断科

○山口 翔太郎^{1,2}、丸木 雄太¹、原井 正太¹、岡田 真央¹、永塩 美邦¹、脇岡 範¹、上野 秀樹¹、
森實 千種¹、小澤 瑞生³、木村 慎太郎³、伊藤 千尋³、菅原 俊祐³、曾根 美雪³、奥坂 拓志¹

PL2-6 borderline resectable HCC 切除可能基準 (Expert consensus statement 2023) 改定版による予後からみた肝細胞癌の治療戦略

¹愛媛県立中央病院 消化器内科、²愛媛大学大学院 消化器・内分泌・代謝内科学

○多田 藤政¹、平岡 淳¹、大濱 日出子¹、木村 優伽¹、中村 綾花¹、北畑 翔吾¹、兼光 梢¹、
川村 智恵¹、黒田 太良¹、宮田 英樹¹、壺内 栄治¹、二宮 朋之¹、中村 由子²、廣岡 昌史²、
日浅 陽一²

6月28日(土) 講演会場(古今の間(中・南)) 10:50～11:20

特別講演 2

【司会】坂本 直哉(北海道大学 大学院医学研究院・消化器内科学教室)

免疫ゲノム解析によるがん微小環境の免疫抑制機構の解明とがん免疫治療への展開

¹国立がん研究センター 研究所 腫瘍免疫研究分野、

²京都大学大学院医学研究科附属がん免疫総合研究センター がん免疫多細胞システム制御部門、

³名古屋大学大学院医学系研究科 微生物・免疫学講座 分子細胞免疫学

○西川 博嘉^{1,2,3}

6月28日(土) 講演会場(古今の間(中・南)) 11:30～12:20

ランチョンセミナー2

【司会】工藤 正俊(近畿大学医学部 消化器内科学)

【共催】アストラゼネカ株式会社

LS2-1 長期予後を目指した進行肝癌の治療戦略
～肝予備能、奏効パターン、バイオマーカーからの考察～
大阪大学大学院医学系研究科 消化器内科学
○小玉 尚宏

LS2-2 臨床経験から考える STRIDE レジメンのポイント
～肝予備能と imAE マネジメントの視点から～
武蔵野赤十字病院 消化器内科
○土谷 薫

6月28日(土) 講演会場(古今の間(中・南)) 12:30～13:20

スポンサードセッション4

肝細胞癌治療 Up to date

【司会】森本 直樹(自治医科大学 内科学講座 消化器内科学部門)

【共催】エーザイ株式会社

SS4-1 複合免疫療法時代における VEGF-TKI の立ち位置と展望
千葉大学大学院医学研究院・医学部 消化器内科学
○小笠原 定久

SS4-2 肝細胞癌の切除可能性分類と我々の治療戦略 2025
九州大学大学院 消化器・総合外科
○吉住 朋晴

6月28日(土) 講演会場(古今の間(中・南)) 14:25～15:15

スポンサードセッション5

【司会】坂本 直哉(北海道大学医学研究科 内科学講座 消化器内科学分野)

【共催】中外製薬株式会社

SS5-1 アテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法
—4年半の使用経験と RWD から考える治療戦略—
藤田医科大学 消化器内科学
○葛谷 貞二

SS5-2 肝細胞癌の薬物治療における最新トピックス
近畿大学医学部 消化器内科学
○工藤 正俊

6月28日(土) 講演会場(古今の間(中・南)) 15:20～15:35

沖田賞授賞式

【代表世話人】工藤 正俊(近畿大学 医学部 消化器内科)

6月28日(土) 講演会場(古今の間(中・南)) 15:35～15:50

第30回・第31回日本肝がん分子標的治療研究会 最優秀演題 Award 授賞式

【代表世話人】工藤 正俊(近畿大学 医学部 消化器内科)

第30回最優秀演題 Award

ペプチドワクチン療法の成功からつながる、肝細胞がん特異的抗原 glypican-3 を標的とする T 細胞受容体遺伝子改変 T (TCR-T) 細胞療法の開発

国立がん研究センター先端医療開発センター免疫療法開発分野

○寺田 剛

肝臓に対するアテゾリズマブとベバシズマブ併用療法後のコンバージョン症例の治療成績:コンバージョン症例は PR 症例より良好で、CR 症例と同等か?

群馬県済生会前橋病院

○畑中 健

根治を目指した LEN-TACE 治療経験

熊本大学大学院生命科学研究部生体機能病態学分野 消化器内科学

○檜原 哲史

ミスマッチ修復異常関連遺伝子変異シグネチャーに基づく複合免疫療法の治療効果予測

京都大学医学部附属病院消化器内科

○竹田 治彦

肝細胞癌における薬物療法後の肝切除の多施設研究

九州大学大学院 消化器・総合外科

○伊勢田 憲史

切除不能肝細胞癌における STRIDE 療法の 2 パターンの ICI リチャレンジの意義

千葉大学大学院医学研究院 消化器内科学

○米本 卓弥

第31回最優秀演題 Award

肝細胞癌に対するアテゾリズマブ - ベバシズマブ治療反応性予測のための分子ラジオミクスシグネチャーの同定

三重大学医学部附属病院 消化器・肝臓内科

○藤原 直人

進行肝細胞癌に対する複合免疫療法効果予測因子かつ新規治療標的分子 Carbonic anhydrase 9 の同定と機能解析

大阪大学大学院医学系研究科 消化器内科学

○佐藤 悠

肝細胞癌カボザンチニブ治療リアルワールドデータ～初期投与量、投与量調整に着目して～

順天堂大学練馬病院 消化器内科

○大久保 裕直

切除不能肝細胞癌に対するカテーテル治療併用アテゾリズマブ＋ベバシズマブ療法の有用性

広島大学病院 消化器内科

○河岡 友和

肝内胆管癌に対する遺伝子パネル検査の real world データの検討

国立がん研究センター東病院 肝胆膵内科

○井上 佳苗

腫瘍学的切除可能性分類から見た薬物療法の予後

武蔵野赤十字病院 消化器内科

○安井 豊

6月28日（土） 講演会場（古今の間（中・南）） 15:50～16:00

閉会式・次回当番世話人挨拶

【当 番 世 話 人】波多野 悦朗（京都大学肝胆膵・移植外科／小児外科）

【代 表 世 話 人】工藤 正俊（近畿大学 医学部 消化器内科）

【次回当番世話人】上野 義之（山形大学医学部内科学第二講座）

プログラム 2 日目（ポスター会場 1）

6 月 28 日（土） ポスター会場 1（古今の間（北）） 13:25 ～ 14:25

ポスターセッション 5

各種薬物療法の治療成績②

【司会】 森本 学（横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター内科）

池田 公史（国立がん研究センター東病院 肝胆膵内科）

P5-1 進行肝細胞癌に対するデュルバルマブ＋トレメリムマブ併用療法の有効性及び安全性についての検討

¹大阪大学 医学部 消化器内科、²関西労災病院 消化器内科、³大阪警察病院 消化器内科、
⁴JCHO 大阪病院 消化器内科、⁵大阪国際がんセンター 肝胆膵内科、⁶市立貝塚病院 消化器内科、
⁷国立病院機構大阪医療センター 消化器内科、⁸大阪府立急性期・総合医療センター 消化器内科、
⁹市立伊丹病院 消化器内科、¹⁰市立豊中病院 消化器内科、¹¹東大阪医療センター 消化器内科、
¹²吹田市民病院 消化器内科

○西岡 千夏¹、前阪 和城¹、疋田 隼人¹、野崎 泰俊²、宮崎 昌典³、巽 信之⁴、大川 和良⁵、
垣田 成庸⁶、阪森 亮太郎⁷、薬師神 崇行⁸、今中 和穂⁹、松本 健吾¹⁰、名和 誉敏¹¹、
吉田 雄一¹²、田畑 優貴¹、小玉 尚宏¹、巽 智秀¹、竹原 徹郎¹

P5-2 肝細胞癌に対する Durvalumab＋Tremelimumab 療法の治療成績

徳島大学大学院医歯薬学研究部 消化器内科学

○田中 宏典、花田 康平、米澤 真衣、河野 豊、高山 哲治

P5-3 当院における肝内胆管癌に対するゲムシタビン＋シスプラチン＋デュルバルマブについての検討

広島大学病院 消化器内科

○藤井 康智、河岡 友和、江盛 智明、田中 愛子、橋本 晃、上平 祐輔、三浦 峻一、藤野 初江、
大野 敦司、村上 英介、柘植 雅貴、岡 志郎

P5-4 当院におけるデュルバルマブ・トレメリムマブ併用療法の現状

金沢大学附属病院 消化器内科

○高田 昇、千葉 智義、木戸 秀典、山下 太郎

P5-5 切除不能肝細胞癌に対するデュルバルマブ＋トレメリムマブ併用療法の実臨床成績および治療戦略

武蔵野赤十字病院 消化器内科

○内原 直樹、土谷 薫、高浦 健太、田中 将平、前屋舗 千明、玉城 信治、安井 豊、中西 裕之、
泉 並木、黒崎 雅之

P5-6 肝細胞癌に対する術前 LEN-TACE 療法の治療成績

¹自治医科大学 消化器一般移植外科、²自治医科大学 消化器肝臓内科、³新小山市民病院 外科

○目黒 由行^{1,3}、笹沼 英紀¹、森嶋 計¹、谷口 理文¹、木村 有希¹、青木 裕一¹、田口 昌延¹、
笠原 尚哉¹、渡邊 俊司²、森本 直樹²、佐久間 康成¹、山口 博紀¹、佐田 尚宏^{1,3}

- P5-7 切除不能進行肝細胞癌におけるアテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法の治療効果とTACE 併用療法の意義**
北海道大学 消化器内科
○荘 拓也、須田 剛生、田中 崇倫、北野 翔一、目野 晃光、保浦 直弘、甲谷 理紗子、佐々木 貴志、北潟谷 隆、大原 正嗣、中井 正人、坂本 直哉

- P5-8 当院における LEN-TACE 療法の有用性の検討**
北里大学病院 消化器内科
○野村 奈央、岩崎 秀一郎、飯田 淳貴、日高 央

6月28日(土) ポスター会場 1 (古今の間(北)) 13:25 ~ 14:25

ポスターセッション 6
治療薬の選択 / 切り替えのストラテジー、シーケンシャル治療
【司会】山下 太郎 (金沢大学医薬保健研究域医学系 消化器内科学)
上嶋 一臣 (近畿大学医学部 消化器内科)

- P6-1 肝細胞癌薬物シーケンシャル療法:カボザンチニブ治療からみたベストタクティクス**
順天堂大学練馬病院 消化器内科
○大久保 裕直、太田 寛人、石井 重登、福生 有華
- P6-2 切除不能肝細胞癌におけるアテゾリズマブ・ベバシズマブ併用療法とレンバチニブの治療シーケンスの検討**
がん研究会有明病院 肝胆膵内科
○岡本 武士、佐藤 洋一郎、平井 達基、前川 有里、三重 堯文、古川 貴光、武田 剛志、佐々木 隆、尾阪 将人、笹平 直樹
- P6-3 肝細胞癌に対するアテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法後のレンバチニブ投与における奏功例の特徴**
¹東邦大学医療センター大森病院 消化器内科、²東邦大学薬学部 病態生化学
○向津 隆規¹、永井 英成¹、毛利 州秀¹、南雲 秀樹¹、吉峰 尚幸¹、小林 康次郎¹、松井 哲平¹、大道 泰子¹、和久井 紀貴¹、靱山 浩一¹、桧貝 考慈²、松田 尚久¹
- P6-4 切除不能 HCC に対する Atezolizumab/Bevacizumab の Rechallenge 治療**
¹山梨大学 消化器内科、²藤田医科大学病院 消化器内科
○鈴木 雄一郎¹、葛谷 貞二²、大澤 玲於奈¹、村岡 優¹、佐藤 光明¹、前川 伸哉¹、榎本 信幸¹、廣岡 芳樹²、土屋 淳紀¹
- P6-5 Atezolizumab + Bevacizumab 併用療法後の全身化学療法の選択と治療効果～多施設共同研究～**
¹LINKS (九州大学第3内科肝臓研究室関連施設)、²九州がんセンター
○黒川 美穂^{1,2}、森田 祐輔¹、吉本 剛志¹、宮崎 将之¹、大穂 有恒¹、田代 茂樹¹、多田 靖哉¹、佐藤 丈顕¹、田中 紘介¹、千住 猛士¹、本村 健太¹、杉本 理恵¹、井本 効志¹、合谷 孟¹、田中 正剛¹、国府島 庸之¹
- P6-6 アテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法再治療(Rechallenge)の現状**
自治医科大学 内科学講座 消化器内科学部門
○渡邊 俊司、上野 航、大塚 陽介、津久井 舞未子、三浦 光一、森本 直樹

P6-7 切除不能肝細胞癌患者における複合免疫療法中の ALBI スコアの変化の検討

飯塚病院 肝臓内科

○桑野 哲史、濱本 太寛、黒坂 一輝、鈴木 秀生、本村 健太、田中 紘介

P6-8 切除不能肝細胞癌に対するアテゾリズマブ・ベバシズマブ併用療法リチャレンジの治療成績

¹神戸大学 肝胆膵外科、²神戸大学 消化器内科

○濱中 統親¹、小松 昇平¹、多田 俊史²、石原 伸朗¹、大森 将貴¹、木戸 正浩¹、権 英寿¹、
福島 健司¹、浦出 剛史¹、吉田 俊彦¹、田井 謙太郎¹、荒井 啓輔¹、水本 拓也¹、南野 佳英¹、
津川 大介¹、浅利 貞毅¹、松浦 敬憲²、矢野 嘉彦²、児玉 裕三²、福本 巧¹

プログラム 2 日目 (ポスター会場 2)

6 月 28 日 (土) ポスター会場 2 (竹取の間) 13:25 ~ 14:25

ポスターセッション 7

治療効果予測 がん微小環境と免疫状態

【司会】田中 真二 (東京科学大学 分子腫瘍医学)

中川 勇人 (三重大学大学院 医学系研究科消化器内科学)

P7-1 肝細胞癌において NRF2 経路活性化は免疫枯渇型腫瘍を形成しアテゾリズマブ / ベバシズマブ療法に抵抗性を惹起する

¹大阪大学大学院医学系研究科 消化器内科学、²飯塚病院

○山本 修平¹、小玉 尚宏¹、桑野 哲史²、本村 健太²、疋田 隼人¹、巽 智秀¹、竹原 徹郎¹

P7-2 進行肝細胞癌に対するアテゾリズマブ・ベバシズマブ併用療法の予後予測における Albumin-derived neutrophil-to-lymphocyte ratio の有用性

¹神戸大学 肝胆膵外科、²神戸大学 消化器内科

○石原 伸朗¹、小松 昇平¹、大森 将貴¹、多田 俊史²、松浦 敬憲²、木戸 正浩¹、権 英寿¹、福島 健司¹、浦出 剛史¹、吉田 俊彦¹、田井 謙太郎¹、荒井 啓輔¹、柳本 泰明¹、外山 博近¹、児玉 裕三²、福本 巧¹

P7-3 アテゾリズマブ・ベバシズマブ併用療法を施行した進行肝細胞癌症例におけるリンパ球単球比の有用性の検討

¹神戸大学 肝胆膵外科、²神戸大学 消化器内科、³神戸大学 放射線科、⁴神戸低侵襲がん医療センター

○大森 将貴¹、小松 昇平¹、多田 俊史²、石原 伸明¹、松浦 敬憲²、上嶋 英介³、藤島 佳未⁴、石田 淳⁴、権 英寿¹、福島 健司¹、浦出 剛史¹、吉田 俊彦¹、田井 謙太郎¹、荒井 啓輔¹、井口 浩輔¹、祖父江 慶太郎³、矢野 嘉彦²、木戸 正浩¹、児玉 裕三²、福本 巧¹

P7-4 STRIDE レジメン投与例の予後予測における CRP / アルブミン比の有用性

¹岡山市立市民病院、²RELPEC/HCC48

○代谷 元^{1,2}、多田 俊史²、熊田 卓²、平岡 淳²、谷 丈二²、厚川 正則²、高口 浩一²、糸林 詠²、辻 邦彦²、狩山 和也²、豊田 秀徳²、畑中 健²、柿崎 暁²、的野 智光²、小松 昇平²、能祖 一裕²、黒田 英克²、海堀 昌樹²、日浅 陽一²、工藤 正俊²

P7-5 進行肝細胞癌に対するデュルバルマブ・トレメリムマブ併用療法において CRP 値は治療効果予測のバイオマーカーとなりうる:多施設共同研究

¹阪和記念病院 消化器内科、²RELPEC/HCC48

○矢田 豊^{1,2}、畑中 健²、平岡 淳²、多田 俊史²、広岡 昌史²、狩山 和也²、谷 丈二²、厚川 正則²、高口 浩一²、糸林 詠²、柿崎 暁²、大濱 日出子²、辻 邦彦²、石川 達²、能祖 一裕²、豊田 秀徳²、長沼 篤²、熊田 卓²

P7-6 血清 AGRP1 (仮称) は Atezo+Bev 効果不良予測バイオマーカーとなりうる

熊本大学大学院生命科学研究部生体機能病態学分野 消化器内科学

○檜原 哲史、豊田 俊徳、田中 健太郎、稲田 浩気、徳永 堯之、飯尾 悦子、吉丸 洋子、渡邊 丈久、長岡 克弥、瀬戸山 博子、田中 靖人

P7-7 肝細胞癌症例に対する Tremelimumab plus Durvalumab 投与における免疫前治療の影響

¹東邦大学医療センター大森病院 消化器内科、²東邦大学 薬学部 病態生化学研究室

○毛利 州秀¹、永井 英成¹、向津 隆規¹、南雲 秀樹¹、吉峰 尚幸¹、小林 康次郎¹、松井 哲平¹、和久井 紀貴¹、檜貝 孝慈²、松田 尚久¹

P7-8 アテゾリズマブ / ベバシズマブ併用療法例における CRP-albumin 比の予後予測におけるバイオマーカーとしての有用性の検討

¹神戸大学 医学部 消化器内科、²神戸大学 医学部 肝胆膵外科、³姫路赤十字病院 肝臓内科、⁴兵庫医科大学 肝胆膵内科

○松浦 敬憲¹、多田 俊史^{1,3}、小松 昇平²、西村 貴士⁴、福本 巧²、児玉 裕三¹

6月28日（土）ポスター会場2（竹取の間） 13:25～14:25

ポスターセッション8

症例報告②

【司会】川村 祐介（埼玉医科大学総合医療センター 消化器・肝臓内科）

高見 太郎（山口大学大学院医学系研究科 消化器内科学）

P8-1 重粒子線併用免疫チェックポイント阻害剤に効果不良であったが、レンバチニブと肝動注療法で寛解を得た巨大肝細胞癌の一例

山形大学 医学部 内科学第二講座

○勝見 智大、内山 ふみ、鈴木 郁也、槇 慶太、星川 恭子、芳賀 弘明、上野 義之

P8-2 全身薬物療法 CR 後に直接型抗ウイルス薬治療を行った切除不能肝細胞癌の一例

¹姫路赤十字病院 消化器内科、²兵庫県立はりま姫路総合医療センター 消化器内科

○青江 佳歩^{1,2}、的野 智光²、中田 有哉²、新丸 尚輝²、山本 淳史²、森川 輝久²、佐貫 毅²

P8-3 カボザンチニブ4次治療で drug free, cancer free が得られた進行肝細胞癌の一例

¹順天堂大学練馬病院 消化器内科、²順天堂大学 肝胆膵外科

○大久保 裕直¹、太田 寛人¹、石井 重登¹、福生 有華¹、吉岡 龍二²、三瀬 祥弘²、齋浦 明夫²

P8-4 Vp4 巨大肝細胞癌に対して経鼻栄養下に Durvalumab + Tremelimumab 併用療法を施行し conversion 肝切除を達成した 1 例

神戸大学大学院外科学講座 肝胆膵外科学分野

○佐野 隼大、福島 健司、小松 昇平、木戸 正浩、権 英寿、浦出 剛史、宗 慎一、吉田 俊彦、田井 謙太郎、荒井 啓輔、井口 浩輔、水本 拓也、石田 潤、南野 佳英、津川 大介、浅利 貞毅、柳本 泰明、外山 博近、児玉 貴之、福本 巧

P8-5 進行肝細胞癌に対しデュルバルマブ・トレメリムマブ治療中に腹痛が出現し、上部消化管内視鏡検査で irAE 胃炎の診断となった一例

山梨大学 医学部 消化器内科

○大澤 玲於奈、鈴木 雄一朗、土屋 理沙、村岡 優、佐藤 光明、前川 伸哉、土屋 淳紀

P8-6 進行肝細胞癌に対するデュルバルマブ / トレメリムマブ併用療法による免疫介在性有害事象と考えられる炎症反応の遷延に対しトシリズマブが著効した一例

¹千葉大学大学院医学研究院 消化器内科学、²千葉大学大学院医学研究院 アレルギー・膠原病内科

○粒良 和郎¹、米本 卓弥¹、藤谷 誠¹、澤田 翠¹、土屋 貴大¹、吉埜 稜平¹、赤塚 鉄平¹、伊在井 亮¹、片山 慶一¹、三輪 千尋¹、弓田 冴¹、興梠 慧輔¹、井上 将法¹、中村 昌人¹、叶川 直哉¹、小笠原 定久¹、中本 晋吾¹、古田 俊介²、加藤 順¹

P8-7 Durvalumab+Tremelimumab 投与により、irAE 膵炎を発症し、治療に難渋した 1 例

山梨大学医学部附属病院 消化器内科

○土屋 理沙、鈴木 雄一朗、大澤 玲於奈、小宮山 泰之、高田 ひとみ、村岡 優、佐藤 光明、前川 伸哉、榎本 信幸、土屋 淳紀

P8-8 Durvalumab 1 回投与で 1 年以上腫瘍縮小を維持している多発骨転移合併 HCC の 1 例

国立病院機構 四国がんセンター 消化器内科

○浅木 彰則、大鶴 徹、大野 芳敬、灘野 成人

P8-9 Sequential Immune-checkpoint inhibitor 療法により Conversion 手術が可能となった初回切除不能進行肝細胞癌の 2 症例

徳島大学 消化器・移植外科

○宮崎 克己、齋藤 裕、山田 眞一郎、寺奥 大貴、池本 哲也、森根 裕二、島田 光生